

学校教育目標	『力を合わせて、ともに歩もう』 自分のよさに気づき、愛するまちや人とともに、自分の生き方を切り拓いていく児童生徒を育てます。			
	○強く優しい心と、健やかでたくましい体を育てます。(徳・体) ○ルールを尊重し、共に支え合いながら公平・公正に接する態度を育てます。(知・公) ○自ら積極的に社会に貢献し、国際社会の平和と発展に努める態度を育てます。(開)			
学校概要	創立 74 周年	学校長	副校長	3 学期制 一般学級: 個別支援学級:
	児童生徒数:	人	主な関係校: 鶴見小学校 豊岡小学校 (東台小学校)	

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○自分づくりに関する力 伝え合い自分の考えを深化する力 ○課題発見・解決能力 協同的に解決策を見いだす能力 結果を予測し現実と比較する力	鶴見中学校 鶴見小学校 豊岡小学校	○笑顔とあいさつがあふれ自分や周りを大切にできる子ども ○地域の中でたくましく、より良く生き、学ぼうとする子ども ・鶴見中ブロックで児童生徒理解や授業研究会を行い、児童生徒理解・教科・領域における情報交換を積極的に行う。 ・中一ギャップが生じないよう、児童の参観授業や部活動体験、中学生から児童へのオリエンテーションなどを行う。

中期取組目標	○生徒一人ひとりが大切にされ、深い信頼関係に基づいた指導で誰もが安心して豊かに生活できる学校を目指します(人権教育の推進) ○教職員が互いに研鑽し、資質の向上に努めることによって活気あふれる学校を目指します(魅力ある学校づくり) ○保護者・地域からの信頼をさらに深め、協働して質の高い教育を目指します(地域とともに歩む学校) ○「分かる授業・楽しい授業」をめざし、日々の実践から研究を進め、教師力の向上を図ります(授業改善の推進)
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①校内授業研究で、技術科と社会科で実施し、新学習指導要領への取り組みを目指す。②年2回の授業評価を実施し、具体で授業改善などを図る。③図書館との横断的な学びはより活発化させながら、課題であるSDGs・ESDとの取り組みを具体で進める。
豊かな心	①他者理解の視点において、教師が生徒に自身の行動から指導することをさらに徹底し、豊かな心の育成に向けて、全教職員で取り組む。②道徳の時間だけでなく、学校におけるすべての教育活動から、人とのかかわり方を実践を通してより養っていくことを目指す。
健やかな体	①コロナ対応を余儀なく行う状況であったとしても、昨年度の経験を活かし、運動に親しむことで健康維持につなげる。②昨年度の経験をさらに活かし、熱中症対策に努める。③手洗いの仕方やマスクの着脱方法の注意喚起や学校周辺の清掃活動にさらに努める。
教育課程の推進	①昨年度達成されなかった小学校での研究を実現し、鶴見中ブロックで「自己肯定感」を主題とした評価の一体化をすべての分野で図る。②鶴見中スタンダード・コロナ対応の共通理解資料を基に、具体的なカリキュラムマネジメントを反省を生かして実践し、教育課程の推進に取り組む。
児童生徒理解	①生徒指導理解研修や職員会議、さらには生活指導部会や学年連絡会により、生徒の情報を共有と指導の在り方の徹底に努める。②教育相談をこまめに実施するだけでなく、具体で寄り添う姿勢をさらに示し、生徒が安心して過ごせるように、家庭とも連携しながらさらなる支援に取り組む。
特別支援教育	①校内巡回等を全職員で行い、全生徒を全職員で見守る体制をさらに充実させる。②支援が必要な生徒を中心に、個別の指導計画、個別の教育支援計画を作成し、しっかりと可視化の中で全職員による共通理解を図る。③国際教室担当職員を中心に、支援内容を共有しながら、さらに個に応じた指導を図る。
保護者・地域連携	①②全職員が地域行事参加できるよう、地域と連携を取りながら、進めていく。③学校運営協議会へをさらに充実させ、地域とともに歩む学校をさらに進める。また、必要に応じて、地域の方々に消毒作業や地域パトロールを依頼し、地域で守る学校づくりに努める。
人権教育推進	①コロナによる対応が来年度において余儀なくされた場合でも、生徒の変容の把握に努め、きめ細かい対応を目指していく。②コロナによる対応の中、グループ活動が難しい状況であっても、自身を振り返り、お互いの価値を認めあう学びを計画し、今年度の経験を生かしてさらなる取り組みを図る。
いじめへの対応	①SCやSSWと連携をし、生徒や家庭への支援を行う体制づくりをさらに整える。②コロナへの対応が余儀なくされても、学校として工夫しながら集団活動の充実と人間関係作りを強化する。③効果のある教育相談を実施し、生徒の状況把握と課題解決を図りながら、SC等とも連携した支援の状況判断をする。
人材育成・組織運営 (働き方改革)	①それぞれの部署の主担当が中心となる学校経営をさらに進めていく。②鶴見中スタンダードと鶴見中コロナ対応における徹底事項の実践を研修会を実施し、具体で進めていく。③業務の縮小や統合を図りながら、効率の良い働き方も進め、質の高い働き方をさらに目指す。

